

平成30年度 周南市行政評価のまとめ【概要】

1. 行政評価の概要

事務事業の自己改善ツールである「事務事業評価」を行うとともに、「施策評価」については、第2次まちづくり総合計画の149の推進施策単位で実施するとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動させ評価を行った。

また、この行政評価結果の客観性を高めるため、内部管理委員会である「行政評価等評価委員会」において評価の検証を行うとともに、実施計画や予算への反映など、マネジメントシステムとの連動を図っています。

「事務事業評価」と「施策評価」

「事務事業評価」は施策の目的を達成するための活動である「事務事業（予算小事業）」を自己点検し、事業の最適化を図るための改善ツールです。

「施策評価」は、まちづくり総合計画を実現するために「基本施策」や「推進施策」等の目的や目標を明らかにし、その成果に着目する中で、施策の最適化と「選択と集中」を図るために実施するものです。

2. 取組状況

期間等	実施内容
4月～5月	事務事業評価（所管課評価） 個別事務事業の所管課による評価
7月	行政評価等評価委員会 すべての事務事業評価の検証
9月	決算審査等への資料の提出 決算における主要な施策を説明する資料として事務事業評価シートを提出
10月	行政評価等評価委員会 施策評価の実施
1月～2月	事務事業のH31予算における改善点の提出

3. 評価結果

○事務事業評価

区分	内容	H26	H27	H28	H29	H30
A評価	計画どおりに進める。	414	389	353	364	390
B評価	実施方法やコスト等を見直しのうえ継続	460	453	399	367	323
C評価	事業統合や外部委託等による大幅な見直し	30	29	41	37	34
D評価	休止・廃止の検討	32	20	29	17	33
合計		936	891	822	785	780

※予算小事業の統合等により、事業数が減少しています。

○施策評価

区分	H28	H29	H30
重点推進	27施策	17施策	13施策
推進（緊急性を伴うもの）	12施策	16施策	11施策
推進	31施策	28施策	27施策
維持	79施策	88施策	98施策
合計	149施策	149施策	149施策

4. 次年度予算との連動

◇ 平成30年度行政評価及び各課の工夫等による効果額

1,294,709千円

【主な内容】

- 実施計画事業費等の精査 1,163,980千円
- 庁舎集約による光熱費等の削減額 91,665千円
- 設計管理業務等の職員実施範囲拡大 36,351千円
- 処理困難物選別施設の集約化 5,926千円